

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（1180））
2. 日時：平成30年8月7日 17時30分～17時35分
3. 場所：原子力規制庁 8階D会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

矢野審査チーム員、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 プラント管理グループ 主任

5. 要旨

- (1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。
- (2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。
- (3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書に係る補足説明資料 2. 発電用原子炉設置変更許可申請書「本文(十号)」との整合性について 抜粋資料（口設計基準事故）
- ・ 発電用原子炉の設置の許可との整合性に関する説明書に係る補足説明資料 2. 発電用原子炉設置変更許可申請書「本文(十号)」との整合性について 抜粋資料（ハ重大事故に至るおそれがある事故又は重大事故）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 原子炉冷却系統施設のうち 残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（本文）
- ・ 日本原子力発電株式会社 東海第二発電所 工事計画審査資料 原子炉冷却系統施設のうち 残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（添付書類）
- ・ V-3-3-2-1 差圧検出・ほう酸水注入管（ティーよりN10ノズルまでの外管）の基本板厚計算書
- ・ V-2-3-4-3-4 差圧検出・ほう酸水注入管（ティーよりN10ノズルまでの外管）の耐震性についての計算書
- ・ V-3-3-2-2 差圧検出・ほう酸水注入管（ティーよりN10ノズルまでの外管）の応力計算書

- ・ V-2-3-4-4-2 蒸気乾燥器の耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-4-4-4 シュラウドヘッドの耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-4-4-5 ジェットポンプの耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-4-4-6 給水スパージャの耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-4-4-7 高圧及び低圧炉心スプレイスパージャの耐震性についての計算
- ・ V-2-3-4-4-8 残留熱除去系配管（原子炉圧力容器内部）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-4-4-9 高圧及び低圧炉心スプレイ配管（原子炉圧力容器内部）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-4-4-10 差圧検出・ほう酸水注入管（原子炉圧力容器内部）の耐震性についての計算書
- ・ V-2-3-4-4-11 中性子計測案内管の耐震性についての計算書